

ぼくらの街はみんなの遊園地

事業実施主体：本渡中央商店街振興組合
事業実施箇所：熊本県天草市
商店街店舗数：32店舗

- 住民アンケートを基に策定した活性化ビジョンである「～多世代が対話し、遊べて学べる商店街～あまくさん・スマイル商店街をつくろう！」を基本方針に掲げ、遊び場としての商店街の価値創出の取組を行う。
- 地元パフォーマーによる文化発信、親子お仕事なりきり体験会のイベントを通じて、商店街を身近な存在として認知してもらう。
- NPO法人子育てネットワーク「わ・わ・わ」と連携して、ママさん目線の商店街探索地図を製作することで子育て世代が楽しめる場所を認識してもらう。

背景・課題

- ✓ 新型コロナウイルス感染症流行前から、ネット通販の普及、郊外型大型店の進出等による消費者のニーズの変化に対応できず、苦戦していた。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活でのオンライン化が加速。それを受けて、エリアとしての新たな価値も創出、さらなる顧客層の獲得が課題となっている。

取組内容

- ✓ 子育て世代向けの困りごとを相談、有益な情報を交換できる場所として「子育て相談・情報コーナー」「ファミリーカフェ」を開催。
- ✓ 「親子お仕事なりきり体験会」では、子供たちに商店街の仕事を知ってもらい、まちへの愛着をより高めることで将来的な顧客確保を狙う。
- ✓ スタンプラリー抽選会を通して、地元産品をPRする。
- ✓ 空き店舗シャッターお絵かき会やパークイベント等の遊ぶ場を提供する。

見込まれる効果等

- ✓ 遊び場として商店街を認知してもらい、買い物機能だけではなく、違う役割を持たせた商店街として新たな顧客層の獲得、地域活性化を目指す。
- ✓ イベント開催に伴い、商店街の根強いファン獲得につながる施策を展開し子供たちに商店街への愛着を持ってもらう。



← 子育て相談・情報コーナーのようす



お仕事なりきり体験コーナーのようす →